

Hello! FUJISEI

No.275

厚生労働省の「平成25年度国民医療費の概況」によると、平成25年度の国民医療費は40兆610億円、前年度の39兆2117億円の比8493億円、2.2%の増加となり、人口一人当たりでは31万4700円で、前年度の30万7500円に比べ2.3%増加しました。

年齢階級別では、0～14歳は2兆4510億円（構成割合6.1%）、15～44歳は5兆2004億円（13.0%）、45～64歳は9兆2983億円（23.2%）、65歳以上は23兆1112億円（57.7%）でした。

人口一人当たり国民医療費は、65歳未満は17万7700円、65歳以上は72万4500円で、そのうち医科診療医療費では、65歳未満が12万2100円、65歳以上が53万6100円、薬局調剤医療費では、65歳未満が3万2000円、65歳以上が12万7200円でした。

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」5兆8817億円（構成割合20.5%）が最も多く、次いで「新生物」3兆8850億円（13.5%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」2兆2422億円（7.8%）、「呼吸器系の疾患」2兆1211億円（7.4%）となっています。

65歳未満では「新生物」1兆5233億円（13.1%）が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」4兆5238億円（26.5%）が最も多くなっています。

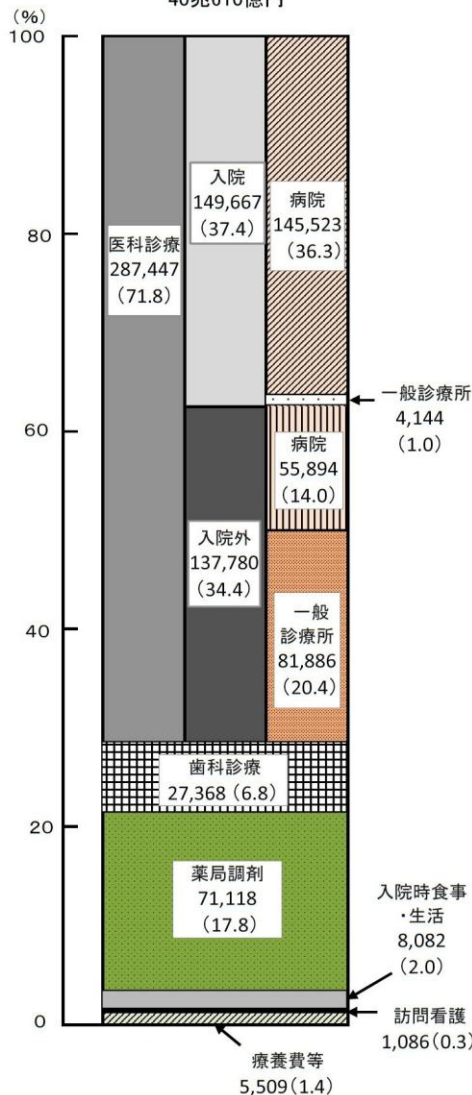
止まらない！ 国民医療費の伸び

65歳以上が23兆円超 全体の6割を占める

男女別にみると、男性では「循環器系の疾患」（19.3%）、「新器系の疾患」（構成割合21.7%）、「新生物」（12.1%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（10.0%）が多くなっています。女性では「循環器系の疾患」（19.3%）、「新器系の疾患」（構成割合21.7%）、「新生物」（12.1%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」（10.0%）が多くなっています。

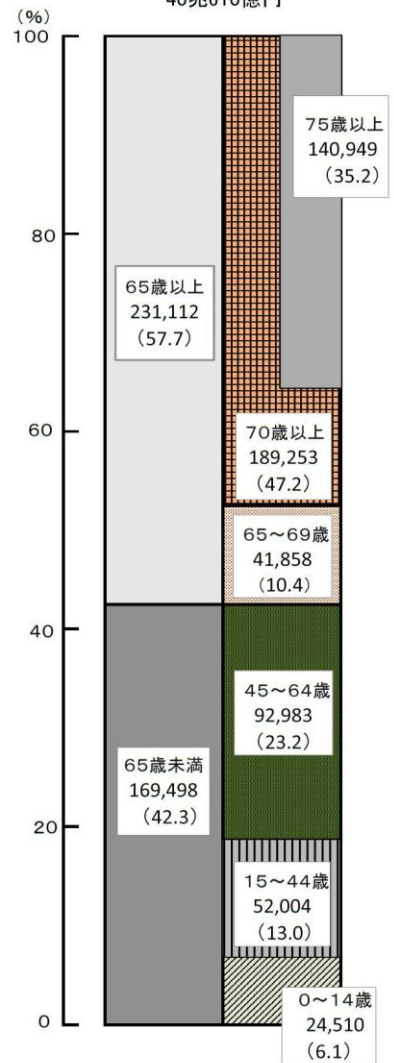
国民医療費の構造

診療種類別国民医療費
40兆610億円



厚生労働省「平成25年度 国民医療費の概況」

年齢階級別国民医療費
40兆610億円



括弧なし数値は推計額（単位：億円）、括弧内の数値は構成割合（単位：%）。

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル